

グラスパーキングの維持管理のポイント



芝生の生育環境と品種

○芝生の生育環境

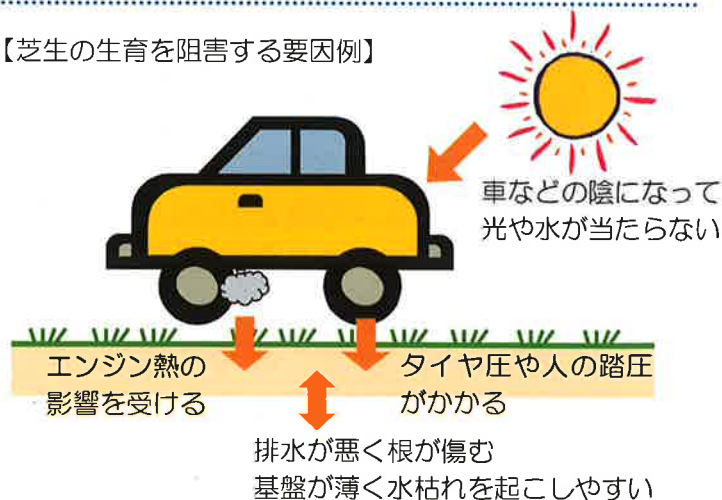
芝生が健全に生育するためには光、水、土の環境を整えることが大切です。特に日照時間は大切で、一日4～6時間の日照を確保するようにしましょう。また、タイヤ圧やエンジン熱の影響の影響を受けにくくすることも必要です。

○芝生の品種

芝生の品種は、駐車場の気象、日照、利用頻度、管理条件を踏まえ選定しましょう。

➡ 兵庫県内では気候等の条件により暖地型（ノシバなど）芝生を主に使用しています。

【芝生の生育を阻害する要因例】



工法の種類と特色



○車輪部補強型
利用が少なめから普通程度の駐車場向け。



○全体強化プラスチックマット型
利用が少ない駐車場向け。



○全体均一補強型
利用が普通程度からやや多い駐車場向け。



○全面芝生型
臨時駐車場などの利用が極めて少ない駐車場向け。

芝生を健康に育てよう

芝生は気象の変化や病気により、急に状態が悪くなることがあります。被害が大きくなるためにも、1週間に1度はよく観察し、異常が見つかったら速やかに対応しましょう。

■水やり

○夏季の水やりは芝生の状態及び環境条件、整備条件に応じて適切に行います。

○夏季以外の水やりは、気候条件と芝生の状態により、必要に応じて行います。

➡ 水やりの間隔は、1週間を目安に降雨や灌水量、土壌特性、品種に応じて総合的に判断します。

➡ 暖地型芝生は4月～11月頃まで灌水が必要になります。

➡ 毎日の灌水は芝生の根の発達を妨げるので控えましょう。

※施工や補修をした後の1カ月は毎日の水やりが必要です。



■刈込み

○芝生が伸びてきたら、適宜刈込みを行います。

⇒ **3~4cm**（仕上げり高）を目安に刈込みます。

⇒ 刈込みは**ほふく茎の発生を促進**し、蒸散量を制限するため**水やりが軽減**できます。

※芝生が伸びると根元に光が当たらなくなり、ほふく茎が発生しにくくなります。

○芝生は刈り込み回数を増せば増すほど**密度が高くなり、美しく、良い芝生**になります。
生育旺盛な時期には特に刈り込み回数を増やします。

⇒ 刈り込みを十分に行えば、**雑草の生育も抑えられる**とともに、雑草が生えていても見栄えが悪くなりません。

○芝生の根元までの極端に低い刈り込みは厳禁です。

⇒ **1/3以上は刈り込まない**ようにしましょう。

※草丈が伸び、成長点（細胞分裂が活発な葉や茎をのばす場所）の高くなった芝草を低く刈り込むと、芝生は成長しなくなります。

○刈り込みした葉は除去します。（通気性、透水性、景観性の確保）

⇒ 刈り込みの頻度を上げると葉の発生も抑えられます。



芝生の成長点は根元近くにありま

■除草

○刈り込みを十分行うことで雑草の生育を抑えることができます。

○特に大型雑草（多年草）は芝生を衰退させるので注意して除去しましょう。



雑草が繁茂した事例

■施肥

○施肥は必要に応じて適宜行います。肥料の成分や施用量、施用方法は、目的に応じて決定します。肥料はホームセンター等でも購入できます。

⇒ 化成肥料の場合、**普通化成肥料（8-8-8）**を芝生面積（舗装や補強材は含まない芝生だけの面積）**1㎡に対して20~40g**を目安とし与えます。

⇒ 夏芝の場合は化成肥料を中心とし、適宜有機肥料を与えるとよいでしょう。

○傷んでいる部分には多めに与え、施肥後はたっぷり散水しましょう。

■土壌の更新

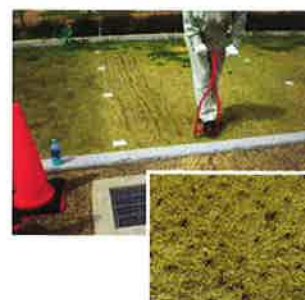
○芝生の更新を促すために目土を行うことが望ましいです。

⇒ **芝生萌芽後の4月~9月の間に4~10mmの厚みで川砂または市販の目土用土壌を敷き込み**ます。

○通気・排水性を高めるとともに、芝生の萌芽促進を図るためにエアレーションを行います。（地面に穴を開ける）

⇒ 芝生の根の活動に刺激を与えるために**生育前期の春季**に行います。

⇒ エアレーション後に**目土を行う**と相乗効果が期待できます。



5cm~10cm間隔で等間隔に穴を開けます。

■補修

○大きな枯損部分があり、補修が必要な時には、枯損要因を考慮したうえで、張り芝・苗の移植などによって補修を行います。

⇒ 補修は**5月末~7月**ぐらいが適期です。

○目土をかけると周囲の芝生の茎が伸びて元の状態に戻ります。

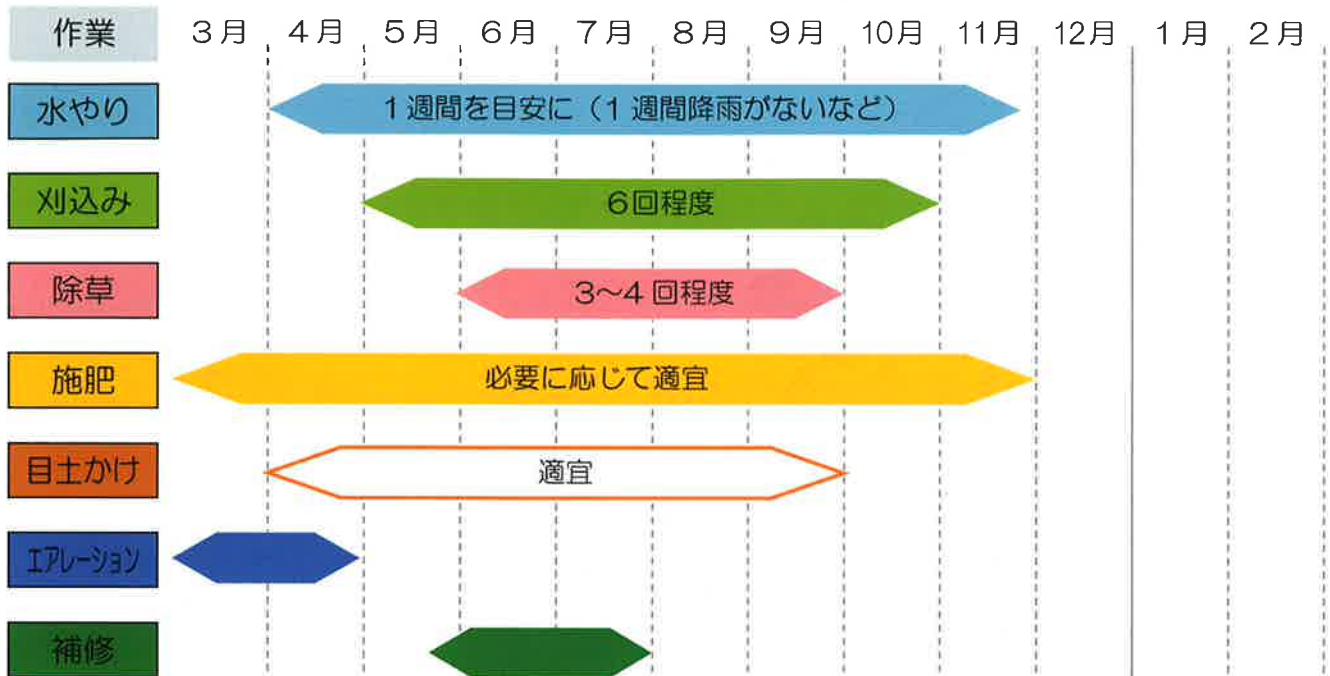
■その他運営など

○毎日同じ場所に止めないなどの利用制限が有効です。

➡一定のローテーションで場所を使い分けるなどの方法があります。

管理スケジュール例

植栽場所の環境や品種によってスケジュールは変わります。



こんな事例があります



エンジン部は施工当初から砕石としている。

維持管理を丁寧に行うことで良好な芝生を保っている。エンジン部は砕石としている。
（全体強化プラスチックマット型）



施工から6年経過しているが良好な芝生を保っている。（全体均一補強型）



灌水程度の最低限の管理ながら、良好な芝生が保たれている。
（車輪部補強型）



維持管理を十分に行うことで良好な芝生を保っている。（全体均一補強型）

Q & A

こんなときはどうするの???

Q 水不足となるのはどのような場合ですか？

- 『全体強化プラスチックマット型』など薄層の土壌では水切れが起りやすくなります。
- 駐車時間が長い駐車場では、車で降雨が遮られ水不足となりやすいため注意しましょう。



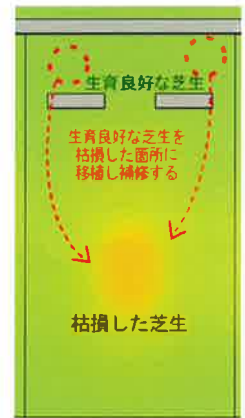
スプリンクラーを使用する場合は利用者や車両に水がかからないように配慮します。

Q スプリンクラーの利用は有効ですか？

- 県内の事例では機械式の灌水装置を設置した駐車場の芝生は生育良好でした。

Q 簡単な補修方法がありますか？

- 車のタイヤ圧等を受けにくい車止めの後ろや周辺に同種の芝生を張っておくと、その部分から健全な芝生を切り取り、補修に用いることができます。



Q 芝生が全体的に衰退したときは？

- 芝生が全体的に衰退あるいは枯損するなど芝生の状態が悪くなった場合は、日照不足や駐車頻度が高いなどの原因が考えられます。日陰に強い芝生（セントオーガスチンなど）を使用する、駐車制限を行うなどの対応をしましょう。
- 水たまりができて1、2日水がひかない場合は排水不良の可能性がありますので、路盤の排水経路を確保しましょう。

Q 車の駐車制限などは必要ですか？

- 曜日ごとに駐車区画を変えるなどの駐車制限が有効です。
- 駐車向きを統一（前向き、後ろ向き駐車）を図ることは、エンジン熱対策を行った場合には有効な手法です。
- ドライバーへのアイドリングストップの呼びかけが大切です。



アイドリングストップを呼びかける看板

Q 芝生以外の植栽材料はありますか？

- タマリユウは常緑多年草であり、耐寒性、耐陰性が強いので目的に応じて使用を検討できます。ただし、踏圧にはあまり強くないので、補強材の天端より低く植えるなどの工夫が必要です。



タマリユウを使った事例

詳しくは下記までお問い合わせください

- (財)兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター
TEL : 078-918-2405 FAX : 078-919-5186
<http://www.hyogo-park.or.jp/midori/>
〒673-0847 明石市明石公園1番27号

■参考図書

- グラスパーキング（芝生化駐車場）普及ガイドライン（案）
<http://web.pref.hyogo.jp/wd03/gp.html>